

H24 地域教育力推進のための モデル校プロジェクト

本県の子どもの規範意識・社会性の課題に対しては、学校だけでなく、家庭や地域が協働して総力を挙げて克服しなければならない。このため、学校が地域のベースとなり、学校コミュニティを再構成し、地域の人々による学校運営への参画、学校との協働活動を通して、子どもの豊かな育ちを確保するため、「地域教育力推進モデル校」を5校指定。

モデル校	選定理由	これまでの取組	現在の取組状況	今後の取組
奈良市立 若草中学校	中学校が核となり、幼小高と連携し、地域教育力の向上に取り組む地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で決める学校予算事業（奈良市） ・学校支援ボランティア ○若草中学校区文化講演会の実施 ○幼小中学校の連携 ○校区指導協議会による見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たにコミュニティ部を設置【熟議・協働】 ○下校時の生徒指導、部活動の維持、低学力の克服をテーマに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な団体との調整 ・小学校区の組織との連携
大和高田市立 浮孔小学校	古くから地域に根ざした学校を支援する体制が整っている地域	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・地域連携事業の実施 ・学校支援活動（学校環境整備、学習活動支援、地域行事への参加など） ・平成23年度優れた地域による学校支援活動の表彰（文部科学省） ○地域と連携した活発なPTA活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たにコミュニティ部を設置【熟議・協働】 ○目標の共有化と各部での計画の作成（例）地域色のある運動会 ○学校地域連携事業の推進と地域の各種団体と教員との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体との調整 ・PTA活動と地域住民による活動の再構成
大和郡山市立 郡山南小学校	地域ぐるみで学校を応援しようとする地域	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・地域連携事業の実施 ・郡山南総合クラブ（スポーツ活動） ・夏休み自習教室 など ○幼稚園との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たにコミュニティ部の設置を検討【熟議・協働】 ○プロジェクト推進に向けて目標の共有化 ○学校・地域連携事業の取組による支援から参画へのスムーズな移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事のみのつながりから、日常的なつながりへのシフト（地域の人たちの横のつながり）
香芝市立 二上小学校	新興住宅地が開発されてこれまでの校区が新たに拡大されている地域	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・地域連携事業の実施 ・図書ボランティア ○学校支援委員会による米作り支援活動や地域安全ボランティアによる登下校の見守り活動 など ○歴代育友会長会による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティ推進委員会の設置を予定【熟議・協働】 ○旧村と新興地の融合を考えたコミュニティ部の創設と子どもの実態・目標の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・新住民の力を学校コミュニティに取り込む仕掛けづくり
下市町立 下市小学校	学校統合により校区が拡大され地域の教育力の再構築が必要な地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携教育活動を実施 ・地域再発見学習 ・地域団体による支援（見守り、お話し会、花いっぱい） ・地域運動会への参加 ・夏祭り（地域行事）への参加 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たに地域協働コミュニティ部を設置【熟議・協働】 ○校区内各区分長（40人）との懇談会の実施 ○PTA 総会時にプロジェクトの説明と周知（PTA との協働） ○地域ボランティア団体との連携・協働 ○協働活動の年間計画の作成 ○行政部局との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校として子どもたちと地域住民との人間関係の再構築

第1回地域教育力推進のためのモデル校プロジェクト会議（MP）〈まとめ〉

1 地域教育力推進のためのモデル校プロジェクト会議（MP）で出された意見

平成24年4月19日（金）実施

- 地域の様々な団体との調整が必要
- 中学校区としての取組を進めるためには、小・中学校間の連携がカギ
- プロジェクトを進めるにあたって、教員の意識を「支援される立場」から「参画・協働」にかえるための仕組みづくりが必要
- 学校に対する地域の関心は高いが、地域の思いをうまく取り込み、生かすことが大切
- 旧村と新興地とバランスを考えたコミュニティ部の人選が必要
- 学校統合により、町内1校であるため、本プロジェクトを通して、子どもと地域の人間関係の構築を図っていきたい
- 市町教育委員会として、財政措置を含めプロジェクトをどのように支援していくのか考えていく必要がある
- 県としてこのプロジェクトをどう発信される予定か

2 モデル校プロジェクトの方向性

- (1) 奈良で育ち・「奈良に暮らす」、「自立・自尊」を目標（仮）とする
 - ・具体的には、動きながら構築していく形で既存事業（学校・地域連携事業）を発展させる
 - ・プロジェクトチームが組織として機能していくためには、共通の目的、協働、参画の意識、コミュニケーションを大切にしていく
- (2) プロジェクトを進めるにあたってのポイント
 - ①校内の組織づくり「コミュニティ部」（仮称）を創設
 - ・校内の組織を新たに創ることが、人の考えを変えることにつながる
 - ②学校を地域に拓く
 - ・学校をベースとして、学校を地域に拓いていくことにより、学校と地域の一体化を図る
 - ③先行モデル校の取組を一般化する
 - ・先行モデル校の取組を全小・中学校に広める（ノウハウや課題、留意点等を整理して発信）
 - ・保幼小中県立学校のつながりを考慮した取組
 - ・家庭教育との連携を考えていく

3 今後の予定

- 年4回のプロジェクト会議を予定し、進捗状況を随時発信していく
- 地域教育力サミットで本プロジェクトを発信する
- 平成24年度 モデル校を追加し、7月より公募予定（平成24年秋募集）～奈良教育モデル～
- 平成25年度 県内小学校の半数で学校コミュニティを実施予定、校区の中学校で学校コミュニティを開始
- 平成26年度 全小学校で学校コミュニティを実施予定、中学校で学校コミュニティを拡大、県立学校とのリンク段階的に拡大実施できるよう準備を進める

地域教育力の向上（地域教育力推進モデル校の取組）

趣旨

今日、児童生徒の基本的な生活習慣・規範意識・社会性等の課題に対しては、学校だけでなく、家庭や地域が協働して総力を挙げて克服しなければならない。

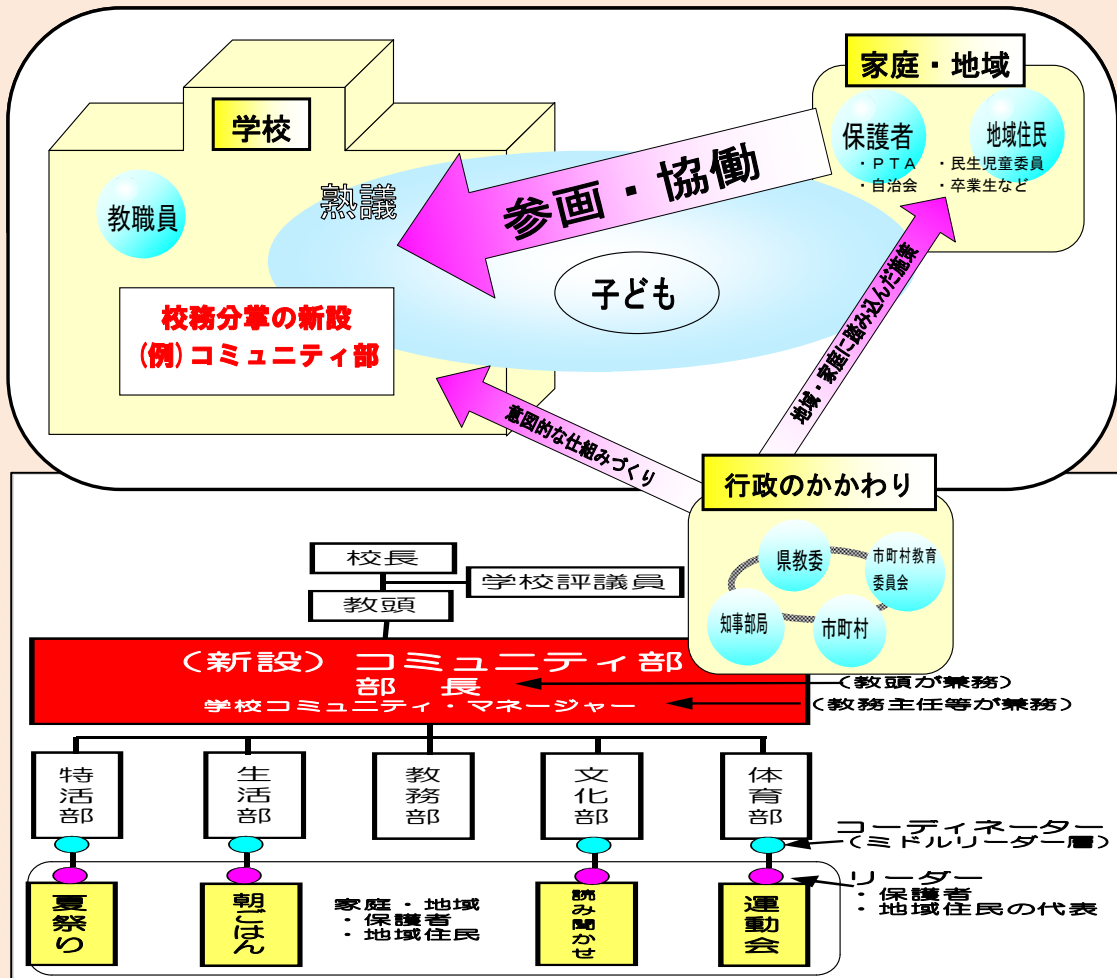
学校と地域の「連携・協力」という視点から、「地域と共にある学校づくり」の視点へ発展させ、学校が地域のベースとなり、地域コミュニティを再構成し、地域の方々の学校運営への「参画」や地域の方々が学校と「協働」した取組を通して、地域教育力の向上を図る。

平成24年4月より、「地域教育力推進モデル校」として、小学校4校、中学校1校を指定し、先行実施している。

現在進行中の取組(奈良モデルの構築)

地域コミュニティの再構成 ～ 小・中学校から ～

学校と地域の連携から学校コミュニティの仕組みづくり
～ 連携から参画・協働へ ～



H24地域教育力推進モデル校（5校）

- 奈良市立若草中学校
- 大和高田市立浮孔小学校
- 大和郡山市立郡山南小学校
- 香芝市立二上小学校
- 下市町立下市小学校